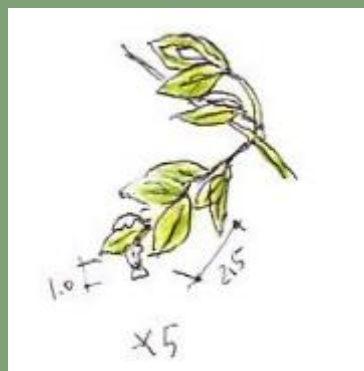
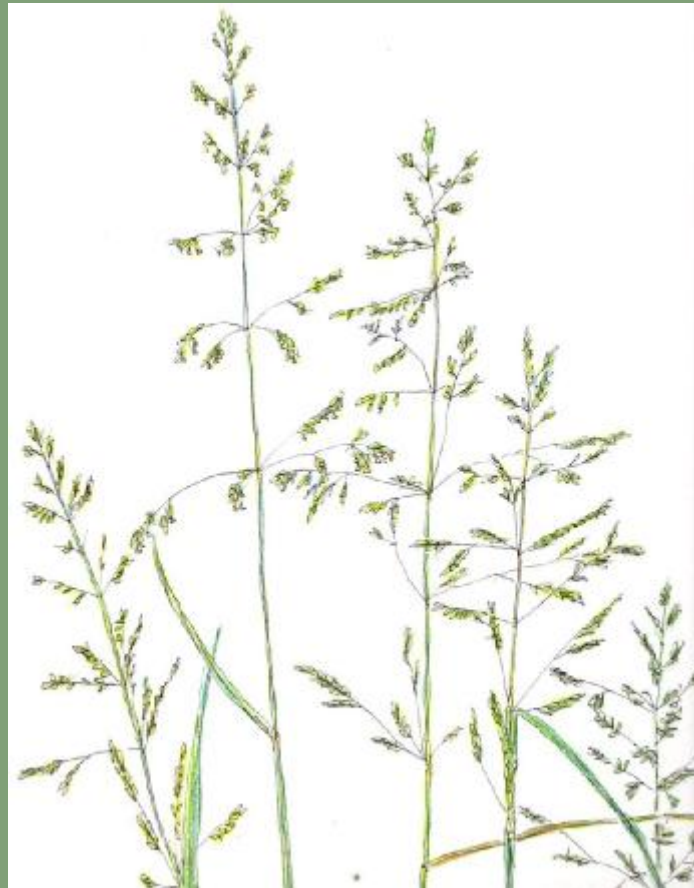


見沼田んぼ・野草スケッチ「イチゴツナギ」

分類：イネ科 イチゴツナギ属（苺繫）

花言葉：---



この野草は、数年前からこの時期になると勢いよく道ばたに繁茂しだす。採集してきては名を検索するが、似たような植物があり判別できない。後回しにしていた。今回、採集し調べたところどうもイチゴツナギらしい。この属にカゼクサという野草もあるが、まだ特定に至っていない。イネ科、ドクムギ属、イチゴツナギ属などは判別がむづかしい。



| 「イチゴツナギ」 | |
|----------|--|
| 世界： | 在来種（帰化種） ユーラシア温帯原産 |
| 生育地： | 道端、草地 短命な多年草 |
| 茎 丈： | 30～100cm 基部に葉を多数つける。 |
| 葉： | 幅3～5（普通2.5以上）mm、柔らかく、葉先はわずかに船首形（ボート形）。 |
| 花期： | 4～6月 |
| 花・花色： | 小花は3～5個。葯は初期には淡黄色で次第に紫色を帯びてくる。苞穎は鋭頭で、第1苞穎は1脈があり、かま形。 |
| 種子：果実 | 披針形、腹部が窪む |
| 特徴： | 在来種でもあったが、外来のものが帰化して増えたのではないかとされている。 |
| 由来 | |
| | 表の記事は、三河の宿物観察より 2019.5.6 ウィキペディアより |